

ものづくりの想いをカタチにするアイデアコンテスト

第6回「ものづくり AWARD」を開催します！

- 株式会社ドッツアンドラインズ(新潟県三条市)とJR 東日本新潟支社は、ものづくり産業の活性化や交流人口の拡大に向け、ものづくりの交流拠点「Eki Lab(エキラボ) 帯織」や「JRE Local Hub 燕三条」を起点に、地域と連携した取組みを行っています。
- 燕三条地域の技術と自由な発想を繋ぎ、商品開発まで行うアイデアコンテストとして、今年も「ものづくり AWARD 2025-2026」を開催します。
- 今回の募集テーマは「出発」。新しい景色、出会い、いろんな体験が待っている。いつもの日常から一歩前進するきっかけを生むような楽しいアイデアを募集します。

1. Eki Lab ものづくり AWARD とは

自由な発想で、ものづくりの面白さや、燕三条が持つ技術を知るきっかけとなることを目指し、広く一般からアイデアを募集するコンテスト形式の企画です。2020年に初開催し今回が6回目となります。グランプリを受賞した作品については、燕三条の技術を結集し、実際の商品化まで行います。



ポスター イメージ

2. 実施概要

■応募期間：2025年7月1日（火）～2025年9月30日（火）

■テーマ：「出発」

新しい景色、出会い、いろんな体験が待っている。いつもの日常から一歩前進するきっかけを生むような楽しいアイデアを募集します。

■募集部門：「一般の部・クリエイターの部」

「小中学生の部」

■使用素材：金属・アルミ・ステンレス・紙・アクリル・プラスチック・木材等、商品化することができる素材を基本とする。

■提出物：①申込者情報(公式サイトのお応募フォームにて入力)

②“出発”をテーマとした作品(イラストか模型)

■応募方法：・WEB での応募 (<https://eki-lab.com/award>)

・郵送での応募

(〒959-1117 新潟県三条市帯織 2342-2)

Eki Lab 帯織内ものづくり AWARD 事務局宛)



WEB での応募はこちらから

■審査方法：審査委員会にてコンセプト、デザイン、実現性等の観点で審査をします。
審査結果の発表は12月上旬を予定し、表彰式とグランプリ受賞作品
の製品公開は2026年4月下旬を予定しています。

■審査員：以下の8名の審査員で審査委員会を実施します。（予定、敬称略）

アッシュコンセプト	代表取締役	名児耶 秀美
DIY FACTORY／株式会社大都		山田 岳人
Hanakumo Inc.		JUN WATANABE
pdc_designworks		やまざき たかゆき
ミクストメディアアーティスト		東金 聖
株式会社ドッツアンドライNZ	代表取締役	齋藤 和也
JR 東日本スタートアップ株式会社	代表取締役社長	柴田 裕
東日本旅客鉄道株式会社	新潟支社長	白山 弘子

■各 賞：①一般の部・クリエイターの部

- ・グランプリ1作品（賞品：サポート付き商品開発、副賞15万円相当）
- ・優秀賞2作品（賞品：サポート付き試作、副賞5万円相当）

②小中学生の部

- ・グランプリ1作品（賞品：サポート付き試作）
- ・優秀賞1作品（表彰）

③その他特別賞

- ・JR賞（サポート付き試作）
- ・各審査員特別賞（表彰）

■詳細情報：ものづくりAWARD 公式ウェブサイト

(<https://eki-lab.com/award>)

■主催：株式会社ドッツアンドライNZ

■共催：東日本旅客鉄道株式会社 新潟支社 / 三条市

■後援：燕市



ものづくりAWARD 公式ウェブサイト

3. 過去のものづくりAWARD受賞作品

■2020年グランプリ「ポンポン酒」

おちょこ1個と新潟県内の酒造の日本酒
がセットになったカプセルトイ



商品化

■2021年JR東日本賞「はこノート」

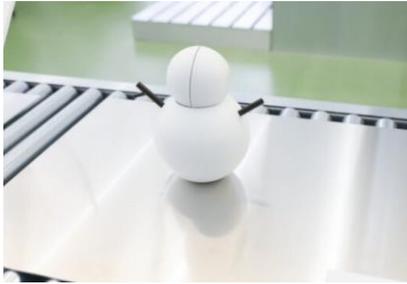
1冊のノートを切り離し組み立てると、
新幹線E5系、E7系モデルの箱となる工作
キット



商品化

■2022 年グランプリ 「さけだるま」

おちょこと徳利を重ねた酒器セット



商品化試作中

■2023 年グランプリ 「table x planter」

暮らしと自然をつなぐ」

プランターと一体になったローテーブル



商品化試作中

■2024 年グランプリ 「衣替え RING」

装飾パーツを取り換えて、自由にデザインを変更できる指輪



商品化試作中

■2024 年 JR 東日本賞 「Voyage 旅する水筒」

描かれたキャラクターと一緒に旅気分を味わえる水筒



試作中

【参考】

■株式会社ドッツアンドライنزについて

株式会社ドッツアンドライنزは、代表の齋藤 和也氏が、無人駅活用のアイデアを公募するプロジェクトにおいて、「燕三条地域の産業発信地と交流拠点を創りたい」という想いを実現するために設立。

■Eki Lab 帯織について

▶施設名：Eki Lab 帯織

▶内容：ものづくりのアイデアを形にできる場所。多くの会員を集め、ワークショップの開催や新製品開発など、県内外のユーザーと燕三条のものづくり企業と技術とを繋げる取組みを推進している。

▶場所：信越本線 帯織駅

▶開業日：2020年10月1日

公式ウェブサイト (<https://eki-lab.com/>)



Eki Lab 帯織

■JRE Local Hub 燕三条について

- ▶施設名：JRE Local Hub 燕三条
 - ▶内容：地域の技術や人々をエリアや世代を超えてつなぐ地方創生型ワークプレイス。ビジネスマッチングや地域情報の発信、人材育成等を通じたものづくり産業の活性化、及びシェアオフィスの運営を行う。
 - ▶場所：上越新幹線 燕三条駅 改札外2階
 - ▶開業日：2023年2月17日
- 公式ウェブサイト (<https://factory-window.jp/>)



※画像はイメージです。

※ 掲載内容は予定であり実施内容を変更・中止することがあります。

第6回 ものづくりAWARD 2025-2026



燕三条の技術とみなさんの自由なアイデアをつなぎ、
商品を開発していくアイデアコンテストです。

応募期間

7.01^{Tue} → 9.30^{Tue}



テーマ

出発

新しい景色、出会い、いろんな体験が待っている。
いつもの日常から一歩前進するきっかけを生む
ような楽しいアイデアを募集します。

使用素材：

燕三条地域の加工技術をいかしたものを主材（金属・アルミ
・ステンレス・紙・アクリル・プラスチック・木等）とした商品
化することができる現実的な素材

一般の部・クリエイターの部

グランプリ1作品

↳ サポート付き商品開発+
副賞15万円相当

優秀賞2作品

↳ サポート付き試作+
副賞5万円相当

小中学生の部

グランプリ1作品

↳ サポート付き試作

優秀賞1作品

↳ 表彰

その他特別賞

JR賞 → サポート付き試作
各審査員特別賞 → 表彰

※ サポート付き商品開発とはアイデアの検討、試作品の開発、テストマーケティングの場の提供
（1年間）を行うものとし、製品化・市場投入を約束するものではありません。製品化・市場投入
については費用等をご相談のうえ進めていくものとします。

主催 株式会社ドッツアンドラインズ

共催 東日本旅客鉄道株式会社新潟支社 三条市

後援 燕市

協賛 有限会社ストカ 株式会社丸山製作所 NANOBRAND合同会社 熊倉シャ어링有限公司 プログラフ株式会社 EPOXY DESIGN WAgon
企業 株式会社後藤鉄工所 株式会社アイマーク 株式会社奉仕社 株式会社フチオカ MARUICHI PTE.LTD

Eki Lab

「EkiLab」は(株)ドッツアンドラインズとJR東日本新潟支社が、無人駅を活用し協力して
地域活性化に取り組むプロジェクトです。 <https://eki-lab.com>

Dots and Lines

JR東日本
新潟支社